

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7902 財務会計論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜3限				
教室	D112教室				
代表教員	海老原 諭				
担当教員	海老原 諭				
テーマと到達目標	この授業では、財務会計の目的や意義、個々の会計処理に通底するルールを理解することによって、簿記の学習を通じて身に着けた知識を体系化することを目的とする。この授業で学習する財務会計の基本的な「設計図」をイメージできるようになれば、将来、より高度な簿記・会計の学習内容を効率的に習得することや、学習を通じて身につけた知識を実際の企業で行われている実務と結びつけることが容易になるだろう。				
概要	1. この授業は、講義形式で実施する。 2. 授業の最後に、その回で学習した内容を振り返るためのリフレクション・シートに取り組んでもらう。 3. 授業中は、適宜、学生を指名し、発言を求める。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	財務会計の意義				対面授業
第3回	企業会計原則と概念フレームワーク				対面授業
第4回	貸借対照表と損益計算書				対面授業
第5回	費用性資産の処理の原則、費用収益対応の原則				対面授業
第6回	商品売買取引の処理				対面授業
第7回	有形固定資産の処理				対面授業
第8回	費用の見越しと繰延べ、貯蔵品の処理				対面授業
第9回	履行義務の履行に基づく収益の認識				対面授業
第10回	資本取引、資本と利益の区別				対面授業
第11回	引当金、減損会計				対面授業
第12回	外貨建取引の処理				対面授業
第13回	有価証券の処理				対面授業
第14回	キャッシュ・フロー会計				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	1. 平常点30%、期末試験70%の割合で算出した素点をもとに評価する。 2. 平常点は各回のリフレクションシートの点数による。 3. 次の場合は素点にかかわらず不可とする。 (1) 講義実施回数の3分の1を超えて欠席した場合 (2) 定期試験において不正行為があった場合 (定期試験期間中、他の科目で不正行為があった場合を含む)				
履修にあたっての留意事項	1. 授業の内容について質問がある場合は和光ポータル(Q&A機能)を用いて行うこと。 2. 毎回の講義には、筆記用具、ノート、電卓を持参すること。 3. 授業中、他の学生の迷惑になる行為は禁止する。注意しても状況が改善されない場合は教室から退出させる。 4. 授業中、指名した際に答えることができなかった場合は素点を減点する。 5. 出席について (1) 出席状況の確認は、授業開始時(授業開始10分後)に行うが、出席確認に間に合わなかった場合は欠席したものとして取り扱う。 (2) 本学には公認欠席の制度はない(『学修の手びき』参照)。冠婚葬祭、指定感染症、就職活動その他いかなる理由があっても欠席は欠席として取り扱う。 (3) 交通機関、学バスの遅延についても考慮しない。 6. 復習をしっかりと行うこと。				

オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	特になし	教科書(ISBN)	
参考文献	特になし	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください  <a href="https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html">https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</a>  合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---